

13期 アクティブシニアをめざす

日 時：2025年5月29日（木）

場 所：豊中市地域共生センター

テーマ：午前 元気な生き方（視覚障がい者の理解と支援）－講師：山本美恵子先生

午後 点訳・点字にチャレンジ －講師：ONCC 竹東様・神保様

【午前】元気な生き方（視覚障がい者の理解と支援）

（１）大阪府人権白書『ゆまにてなにわ』を読みながら、「人権とは何か」について勉強をしました。冊子中に書かれている「私たちは、誰もが平等で幸せに生活できるように、お互いを尊重し、力を合わせて思いやりのところを大切にする社会を築くことで、はじめて一人ひとりが豊かに生きることができるのです」ということが大切だと、スラスラと点字を読みながら講義されている姿にビックリしました。



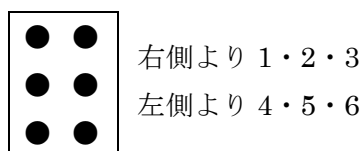
（２）視覚障がいの実態、原因疾病と症状、弱視の症状による見え方・見えにくさ、視覚障がい者の心理などについて勉強しました。また、盲導犬は2025年3月時点で全国に743頭しかいないとのことで、少ないなと感じました。

（３）講師の先生の日常をビデオで拝見しました。盲導犬のマースと一緒に料理学校へ通ったり、水泳や卓球、バレーボールなどをされている姿を見て、色々なことに積極的に挑戦し、素晴らしいと思いました。また、折り紙を折られたり、プールに行ったり、点字の講師をしたり、今もアクティブに生活されているのを聞いて、元気づけられました。

【午後】点訳・点字にチャレンジ

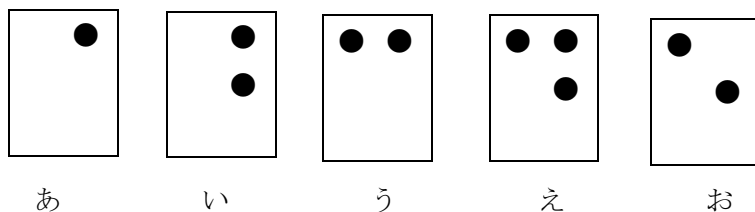
点字は視覚障がい者のコミュニケーションツールの 1 つです。フランス人のルイ・ブライユという人が発明し、日本では石川倉次という人が最初に養護学校に取り入れました。

点字の組織は、1つの升目に6つの点で構成されていて、点字を読む側を凸面点字、点字を書く側を凹面点字といいます。

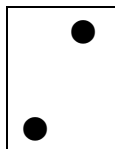


基本はローマ字入力と同じで、あ行と、か行以下はそれぞれ指定した場所とあ行の場所とで構成されます。

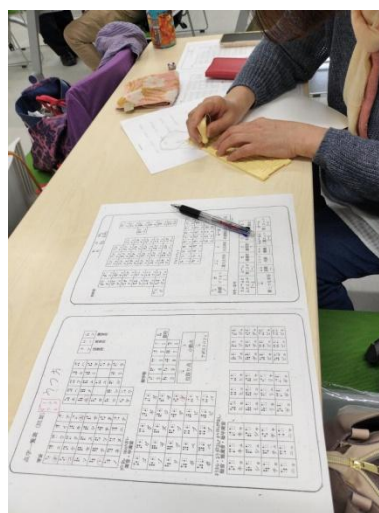
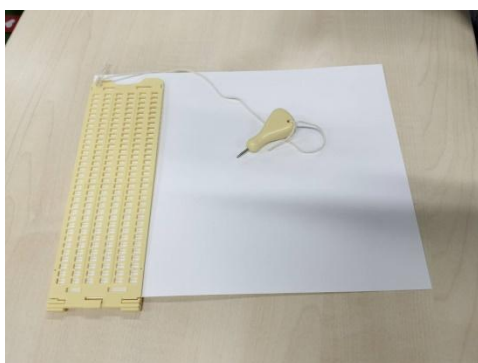
例えば、あ行は、あ(1)、い(1・2)、う(1・3)、え(1・2・4)、お(2・4)で



「か」は、か行(6) + あ(1)で



となります。



(左) 点字作成器。四角い枠が横に並んでいて、右からピンで穴をあけていく

(右) 点字作成器を使って文字を打ち込んでいるところ。手前の用紙は点字一覧表